

(第3種郵便物認可)

# 舟橋 高平メモリアル常願寺スポーツパーク

# 人工芝グラウンド好評

舟橋村にあるグラウンド「高平メモリアル常願寺スポーツパーク」が県内外の競技団体から好評だ。グラウンドが天候に左右されにくい人工芝であることで利用者が多く、今年完成したクラブハウスでヨガなどの教室が開かれていることが人気を後押し。健康を軸とした地域のコミュニティの場として親しまれている。



人工芝のコートでプレーに専念する選手たち

高平メモリアル常願寺スポーツパーク

## クラブハウス後押し

パークは、常願寺川公園スポーツクラブがサッカーを中心とした活動拠点として2016年に開設し、サッカーのフルコート1面を備える。総合型地域スポーツクラブが運営するフルコートの人工芝グラウンドは県内初で、クラブ員をはじめ、県外の強豪チームも多く利用する。週末の稼働率はほぼ100%、年間の利用者は約7万人に上る。人工芝で天候に左右されにくく、年間を通じて使用でき

る。自然豊かな環境も人気だ。部活動で利用する高校もあり、雄山高校サッカー部は週2回、同施設でクラブの指導を受けている。同校教員で顧問の平野孝さん(26)は「本格的な練習ができ、生徒にとっても良い」と話す。

グラウンド横に今年3月完成したクラブハウス「グリーンウィレッジ」は内装材に県産スギをふんだんに使い、温かみのある空間が広がる。部活動で週1回利用する富山第一高校女子サッカー部の細木彩美副キャプテン(17)は「トイレや更衣室は清潔感があり、女性も使いやすい」と喜ぶ。

クラブハウスではヨガやコアトレーニングの教室も開かれ、住民の健康増進に貢献。ヨガ教室に通う舟橋村東芦原の森崎千恵子さん(56)は「コートから子どもたちの元気な声が聞こえ、にぎやかで楽しい」と語る。



内装材に県産スギをふんだんに使い、温かみのあるクラブハウス「グリーンウィレッジ」

安田量クラブマネージャー(38)は「競技者だけでなく幅広い人に利用してもらい、スポーツを通じて地域の発展に協力したい」と話した。